

令和5年度自己評価

令和 6 年 3 月 30 日
学校法人みだい幼稚園

1. 本園の教育目標
「健康で、心豊かな、がんばる子」
 - ・ 健康な子ども
 - ・ 豊かな心、感性や表現力、想像力を持つ子ども
 - ・ 折れない心を持っている(がんばることのできる)子ども
2. 本年度重点的に取り組む目標・計画
幼稚園教育要領の改訂を踏まえ、一人一人の幼児を大切にした質の高い教育・保育の実践を目指す。
3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程を見直し改善を図る	A	幼児の姿や記録をもとに、教職員が定期的に話し合い、狙いや内容の見直しを行った。
2	教育の資質向上のために、園内研修を充実させる	B	園外研修で学んだ保育事例をもとに、園内においても積極的に取り入れ、子どもとの関わり方や活動の取り組みについて検討し、クラス毎に評価を継続して行う。
3	特別支援教育のための園内支援体制を整備する。	B	支援コーディネーターと積極的に意見交換をし、家庭や関係機関との連携を図り、特別の指導方法等についてアドバイスを受け、日々の保育に取り入れることができた。

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	3つの評価項目について重点的に取り組んだ結果、一人一人の幼児を大切にした質の高い保育を実践することができた。前年度に引き続き、園内研修として「他のクラスの保育事例をもとに、子どもとの関わり方や活動のとらえ方について検討し、新たな発見をする」という点については、十分に時間が取れず思うようにできなかったが、保育のさらなる向上に向けての課題も明確になった。

評価(A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	環境	園庭や室内の環境について話し合い、遊びが充実するように幼児の発達に沿った環境構成に取り組む。
2	安全管理	緊急事態に備えて、危機管理マニュアル等を教職員間で共有理解し、意識の向上やマニュアルの改善を図る。
3	幼小接続	幼稚園と小学校の教師が共に学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有して教育の接続を図る。